

社名 : 大栄産業株式会社

代表者名 : 木村 尊

事業分野・内容 :  
生活排水及び事業所排水の処理装置の設計・製造・  
施工・維持管理

得意な分野 :  
高い技術力をもって、FRP製排水処理装置を工場生産し、安価で  
施工性の良い製品を供給

PRしたい技術・製品・サービス 1

【名称】 浄化槽

【特徴・性能・適用分野】

<浄化槽>

トイレ、厨房、浴室等の生活排水を処理する装置。生活排水が発生するあらゆる施設に適応します。



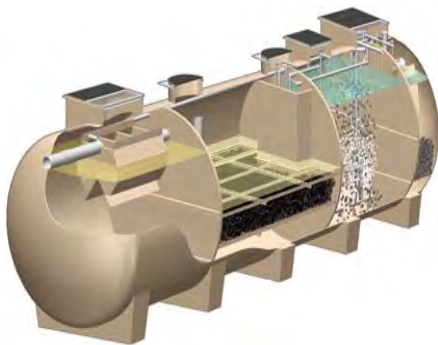
FCE 型浄化槽

<FCE 型浄化槽>

左上の写真は戸建住宅向けの最もコンパクトな浄化槽です。浄化槽としては初めてエコマークの認定を受けました。現実の使用においてもブロワの消費電力も最も少なく、国内最大シェアの他社製品と比較すると4割ほど電気料金削減が可能です、省エネ性能も日本国内No.1です。

<FCW 型浄化槽>

左下のイラストは集合住宅、店舗、ホテル、ビルなどの大規模施設向けの浄化槽でこのような管体を複数配列する事により、様々な大きさの施設に対応します。



FCW 型浄化槽

日本における浄化槽の最も一般的な処理性能は処理水のBODが20mg/lです。

双方ともに、新たに制定されたインドネシアの排水基準を完全にクリアーできる性能を有します。

今後、日本仕様の販売のみではなく、インドネシアの環境、排水基準に適合した新製品を開発し現地生産を行うことも計画中有りです。

新開発の製品の現地生産で、販売価格を抑えて現地に適合する価格での販売も可能です。

【導入するメリット/アピール・ポイント】

- ・トイレを水洗化し、衛生的なトイレ環境が実現できる。
- ・臭気の発生も少ない。
- ・処理水質が優れていて公共用水域への汚染を防ぐ。
- ・インドネシアで多く使用されているセプティックタンクは底板が無く地下浸透してしまい、地下水の汚染が懸念される。その付近で飲用の井戸がある場合は、健康上の影響を受ける事もある。
- ・大栄産業は日本国内で 45 年以上にわたり、浄化槽に携わっているメーカーでその技術力も多様。インドネシアにマッチした浄化槽、汚水処理設備を開発する事も計画中である。
- ・今後インドネシアのみならず、アジア各国への輸出も含めて販売計画を模索中である。

今後、インドネシア共和国において興味のある事業の形態(複数可)

- A:製品輸出・販売    B:現地生産(自社工場/相手先工場/他)    C:技術面等での提携先探索(含 共同研究)  
D:情報源(現地コーディネータ/ビジネス・アドバイザー)探索    E: その他(要記述)

具体的な事業形態

インドネシア国内で合弁商社を設立し排水処理装置の販売。将来は現地生産も視野に入れる。

相手先としてイメージする企業・団体の業種・業態等：

当社の技術をもってインドネシア国内に浄化槽を普及させるにあたり、営業、生産双方でサポートして頂けるビジネスパートナー。建設関係か広い販売網のある企業及び、排水処理事業に興味のある企業が望ましい。

【導入実績】(用途) 住宅、マンション、ビル、病院、学校など人々が一般生活する上に利用するあらゆる施設

【国内】	【海外】
戸建住宅、マンション、店舗、ビル、学校、病院など多数	5年前に中国へ納入。昨年はインドネシア、メダンに FCE7 型を 2基設置した。

主な保有特排水処理装置及び排水方法 No.5698114、浄化槽 No.5706366 等  
許

主な受賞歴 当社の FCE 型浄化槽は 2013 年に“エコマークアワード”において、“プロダクトオブザイヤー”を受賞しました。

PR したい技術・製品・サービス 2

【名称】 産業排水処理設備

【特徴・性能・適用分野】



### <産業排水処理設備>

食品製造、畜産、クリーニング、人工透析、様々な製品の製造で発生する排水など、一定の目的に伴い発生する排水をそれぞれに適した様々な方法で処理します。

左上の写真は食肉加工工場の排水処理設備で地上に設置したものです。縦型の槽を複数設置しているのが特徴です。地上設置は工事期間が短く、既存施設の改修工事にも適しております。



左上の写真は食品製造工業の排水処理設備の機械棟と薬液タンク、右上の写真は、汚泥脱水機でRC製の処理槽は地下埋設してあります。

いずれの場合も放流先の水質規制に応じて適合したシステムを提案します。高度処理により排水の再利用も可能です。

大栄産業は多くの実績により、あらゆる排水に適合した個別のシステムを設計し、様々な形状の処理槽を製造できます。更に設置後の運転面も配慮し、処理機能を発揮しやすい施設です。

#### 【導入するメリット/アピール・ポイント】

- ・新排水基準 (P. 68/Menlhk/Setjen/Kum. 1/8/2016) をクリアできる設備である
- ・新技術によりエネルギーコストの削減を図れる

今後、インドネシア共和国において興味のある事業の形態(複数可):

- A: 製品輸出・販売     B: 現地生産(自社工場/相手先工場/他)     C: 技術面等での提携先探索(含 共同研究)  
D: 情報源(現地コーディネータ/ビジネス・アドバイザー)探索    E: その他(要記述)

#### 具体的な事業形態

インドネシア国内で排水処理装置の販売。将来は現地での設計、生産も視野に入れる。

相手先としてイメージする企業・団体の業種・業態等 :

当社の技術をもってインドネシア国内に浄化槽を普及させるにあたり、営業、生産双方でサポートして頂けるビジネスパートナー。建設関係か広い販売網のある企業及び、排水処理事業に興味のある企業が望ましい。

#### 【導入実績】(用途)様々な事業所

##### 【国内】

多種多様な 150 軒以上の事業所

##### 【海外】

無し

主な保有特  
許

主な受賞歴

その他、自社のインドネシア共和国における事業に関する特記事項

当社はJICAの2014年度補正・2015年度予算中小企業海外支援事業案件化調査に採択され、インドネシアにおいて共同事業を行ってきた。次いで2017年度、案件化調査に続き、普及実証事業の採択を受けた。インドネシアで浄化槽の普及を拡大させるべく事業を行う予定。その上、日本の環境省から排水浄化の新技术を用いて新しい排水基準をクリアーできる設備の開発に、アジア水環境改善モデル事業としての採択を受けた。

上記の様に、インドネシアマーケットでの実績を積み上げつつ、インドネシア進出準備を進める当社とともに歩んでいけるパートナーを見つける努力を行っている。

企業情報

社名(和): 大栄産業株式会社

社名(英): DAIE INDUSTRY Co., Ltd

ウェブサイト: <http://www.daie-industry.co.jp/>

所在地 〒470-2403 愛知県知多郡美浜町大字北方字西側 85-1

電話: 0569-82-0338

ファクス: 0569-82-2114

Mail アドレス: HP 問合せから送信可

相手国企業からの直接の問い合わせの可否:

電話:  (可) (問合せ言語  日本語  英語) インドネシア語 ・ その他( ) ( ) ・ 不可  
Mail:  (可) (問合せ言語  日本語  英語) インドネシア語 ・ その他( ) ( ) ・ 不可

窓口(部署) 本社海外開発室 (役職) マネージャー

(氏名) 田尻茂樹

電話: 0569-82-0338

ファクス: 0569-82-2114

メール: [tajiri@daie-industry.co.jp](mailto:tajiri@daie-industry.co.jp)

これまでのインドネシアでの事業活動(複数可): (開始時期: 2014年9月)

A: 製品輸出・販売 B: 現地生産(自社工場/相手先工場/他)  C: 技術面等での提携先探索(含 共同研究)  
D: 情報源(現地コーディネータ/ビジネス・アドバイザー)探索  E: その他(要記述) F: 無し

その他記述欄:

合併先になりうる企業への訪問、面談

環境省主催の「インドネシアにおける分散型排水処理のためのステークホルダーミーティング」への参加

JICA 中小企業海外支援事業案件化調査

(ICETT 使用欄)